

「読みたい」と思わせる 本のポップ作り

小学校 4年 国語
「本は友達
本のポップや帯を作ろう」
読書活動

ねらい

- 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。
- 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。

学習展開

- ① 読書の良さについて話し合い、ポップを作って図書館に展示するという学習の見通しをもつ（帯やポップについて知る）。
- ② 「神様の階段」を読み、ポップでの紹介の仕方を知る。
- ③ 読みたい本を選んで読み、友だちにおすすめしたいポイントをまとめる。
- ④ ポップのかき方を確認し、ポップをつくる。
- ⑤ 図書館にポップを展示し、お互いの良いところを伝え合い、学習を振り返る。



児童が作成した POP



POP 展示の様子

司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は、POPの見本を作成し、児童に提示する。
- 学校司書は学年に応じた本を選書、紹介する。
- 司書教諭は学級担任と打ち合わせをし、POPのかき方を指導する。
- 司書教諭と学校司書は出来上がった POP と本を学校図書館に展示する。

指導のポイント

- 作った POP を「学校図書館に展示する」というゴールを設定し、必要感をもって学習に取り組めるようにする。
- POP や帯があるものとなないものを比べ、POP や帯の役割に気付かせる。
- POP の実物や写真をたくさん準備し、イメージをもたせる。

資料

- 『みんなで図書館活動 この本、おすすめします!』
(『この本、おすすめします』編集委員会/編著 汐文社)
- 『本の POP をつくろう!』(『本の POP や帯を作ろう』編集室/編著 理論社)